

忍川の野鳥を観察しよう

忍川の野鳥

忍川では、上流から下流のいたるところで、野鳥の観察ができます。特に川幅の広い部分で、たくさんの野鳥が見られます。

野鳥の数は季節により変化し、冬が最も多く、秋、春にも良く見られます。

夏は、野鳥の数も種類も減りますが、忍川近くの水田で少し見ることができます。

忍川の代表的な野鳥のサギ

忍川で最も目立つ野鳥はサギです。サギには、ダイサギ、アオサギ、コサギなどがいます。ダイサギやアオサギは身長が90cmにもなります。

忍川の代表的なカモの見分け方

忍川に最も多い鳥はカモです。水に浮かぶカモは、皆同じように見えますが、羽の色をよく見てください。違いがあるのが分かります。

カルガモは羽の先の白が目立ちますが、白い羽の横に青い羽が見えることもあります。雄雌の区別は難しいです。

マガモの冬の雄は緑の頭と白と黒の羽で非常に美しいです。雌の羽は茶色。羽色の異なる雄雌のペアで水に浮かびます。

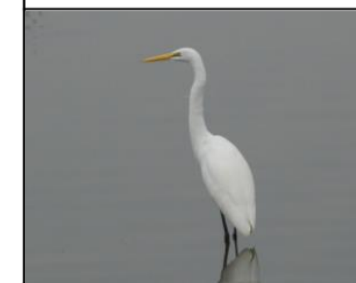
コガモの雄は茶色の頭で目の回りが緑、雌は全体に茶色です。

カモの羽の季節変化

カモの羽は季節により変わります。特に美しい冬の雄は、春になると雌と同じような茶色に変わります。そして雄雌の区別が難しくなります。

冬の繁殖期を過ぎて茶色に色あせた羽の状態をエクリップス（日食）と呼びます。

ダイサギ



全身が白で体長90cm、くちばしは黄色、大集団を作ることがある。

アオサギ



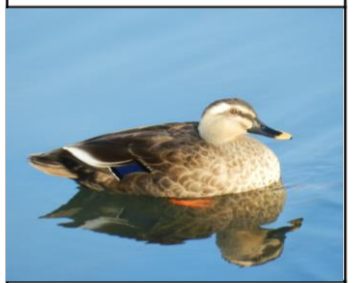
青みがかった灰色で、目の上から頭部が黒、羽の裏や肩も黒

コサギ



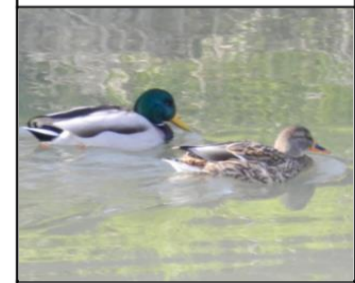
全身が白で、体長が60cm、くちばしと脚が黒、足の指が黄色

カルガモ



雄雌とも目に茶色の線がかかる、くちばしは黒で先端は黄色。

マガモ



冬の雄(右)は、黄、緑、白、黒で艶やか、夏は雌と同じ茶色になる。

コガモ



頭の頂上が茶色、目の回りは緑(雄)、小さいカモの意味ではない。

ハシビロガモ



首が白、腹が茶色、頭は緑、嘴はシャモジのような形。

カイツブリ



カモに似ているが目が白、頭から首にかけて茶色、潜水して餌をと

オオバン



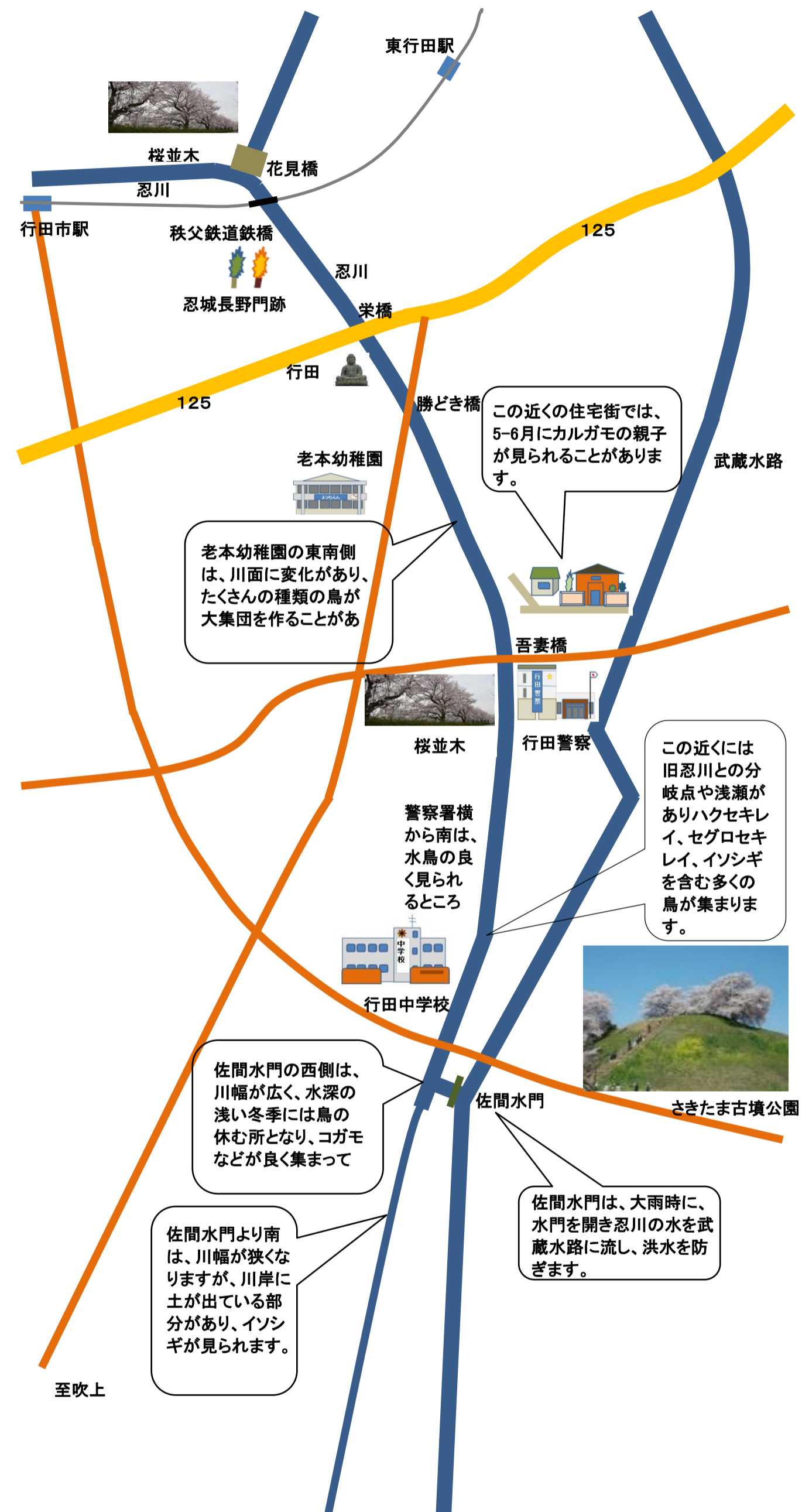
羽全体が黒、顔の正面は円形に白、体長は、32から39cm

美しい野鳥の写真を撮ろう

野鳥は人間が近づくと飛び去りますので、撮影にはある程度の距離が必要です。

一眼レフなら300mmから600mmの望遠レンズを使います。デジタルカメラの場合は、20倍から60倍程度のレンズを使うと良く撮れます。

一眼レフの場合は、飛んでいる野鳥の写真を撮ることもチャレンジしよう。



カルガモの親子



春に子ガモを連れてカルガモが、道路や麦畑の中を散歩します。

カワウ



全身が黒で、あご、くちばしが黄色、鞆飼に使うのはウミウで別種

ハクセキレイ



羽は灰色で水辺や畑で尾を上下して餌を探します。体長21cm

セグロセキレイ



ハクセキレイと良く似ていますが、羽は黒、体長21cm

イソシギ



体長21cm、胸の白い切れ込みと目の横の黒い線、映画音楽で有名